

卒業研究テーマ「公共図書館における資料選択のアウトソーシング：ハワイ州の事例から」

研修期間：平成 24 年 9 月 3 日～9 月 12 日

目的地：アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市

主要訪問先：ハワイ州立図書館（Hawaii State Public Library）

1. 渡航目的

私は現在「公共図書館における資料選択のアウトソーシング：ハワイ州の事例から」という研究テーマで卒業研究を進めている。本研究では資料選択のアウトソーシングの実態を、アウトソーシング推進側の視点を含め、多角的に明らかにすることを目的としている。

そのため、本研究では文献調査及びインタビュー調査を行う。ハワイ州立図書館に資料の問い合わせを行ったところ、新聞のバックナンバーなどインターネットからはアクセスできない資料があるとの回答を得た。そのため、現地に赴いて資料を収集した。

2. 訪問先

2.1 ハワイ州立図書館（Hawaii State Public Library）



図 1 ハワイ州立図書館

ハワイ州立図書館は、ハワイ州図書館システム唯一の中央図書館である。ハワイ州の中央図書館として、本、新聞、雑誌、CD、DVD、政府関係資料、ハワイに関する郷土資料など幅広い資料を収集している。ホノルルのダウンタウンの一角に位置しており、市役所やハワイ公文書館とも隣接している。月曜日から土曜日まで開館しているが、開館時間は曜日によって違いがある。訪問した期間、常に開館時間 10 分前には開館を行列ができていた。図書館のセクションはヤングアダルト（Young Adult）や政府関係書類（Federal Documents）など 11 個にわかれているが、そのうち今回お世話になったのはハワイ州関係資料（Hawaii & Pacific）のセクションと雑誌（Serials）のセクションである。

今回ハワイ州立図書館では、州議会の議事録、地元の新聞（ホノルル・アドバタイザー、スター・ブリティン）、図書館の年次報告書、ブルーリボンパネルの報告書等を収集した。州議会の議事録など読み方が独特な資料についてもレファレンス担当の方から詳しく説明していただき、当初は収集を予定していなかった重要な資料も案内していただけた。

2.2 リリハ公共図書館 (Liliha Public Library)



図 2 リリハ公共図書館

リリハ公共図書館はハワイ州図書館システムの分館のうちの一つである。チャイナタウンの近くに設置されており、利用者には中華系の人も多い。そのため中国語を中心として、アジア系の言語の資料が充実している。中国語資料に関しては、大人向けの本だけでなく絵本や児童向けの本など、幅広い年齢層に対する資料が用意されていた。

今回リリハ公共図書館ではインタビューを行った。インタビューでは当時の図書館の状況などを直接聞くことができ、また併せて図書館に所蔵されていないような貴重な資料を見せていただいた。

2.3 ハワイ公文書館 (Hawaii State Archives)



図 3 ハワイ公文書館

ハワイ公文書館はダウンタウンの一角に位置し、イオラニ宮殿とハワイ州立図書館の間に設置されている。ハワイ州の政府記録などが利用可能な状態で保管されており、君主制だった時代から現在までの資料を収集している。州議会の議事録や意見陳述書も保管されているため、今回訪問した。

今回ハワイ公文書館では州議会議事録の他、図書館に関する法律が制定される際に寄せられた意見陳述書を収集した。意見陳述書は ALA といった図書館関係団体からのものや、個人からのものなどかなりの量があった。

3. 渡航をして感じたこと

図書館側とは渡航前にもレファレンスマールでやり取りを行っていたが、英語に不安な点も多く、上手く意図が伝わっているのか不安なこともあった。しかし現地へ赴いて直接やり取りをすることによって、意図がより正確に伝わり、新たな資料を手に入れることもできた。この貴重な経験を、卒業研究に活かしていきたい。